(旧第三種郵便物認可)　河北新報　夕刊　平成10年(1998年)2月27日(金曜日)　(日刊)

# 100年後の街 みんなで考えた

## 仙台市片平丁小 米国チャペラルミドルスクール

## インターネットで交流

### 互いの模型紹介し合う

テレビ会議システムを利用した「インターネットこども会議」。日米両国の子供たちが、それぞれの〝未来の街〟を披露し合った＝2月12日、仙台市青葉区の東北大金属材料研究所

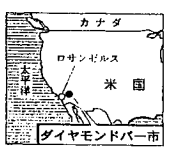
未来の街っていったいどんな街？　仙台と米国カリフォルニア州の子供たちが、インターネットで交流しながら百年後を想定した「自分たちの街」の模型づくりに挑戦した。お隣同士とはいっても遠くへだてられた共通テーマは「環境」。〝未来の社会人〟たちが自分たちの政府や議会を組織して、まちづくりを進めたところ、日本と米国では全く違ったタイプの街ができたが、地球環境を守る思いは同じ。両国の子供たちは「人間だけでなく、生き物すべてが幸せに暮らせる環境をつくり育てていこう」と〝条約〟を結んだ。マルチメディアを活用した最先端の「まちづくり教育」を紹介する。（報道部・小島直広）

### 電子メールで

「創造は無限だ、を合言葉に、世界で一番すてきな街をつくりました。私たちの未来の街をぜひ見てください」

二月十二日、仙台市青葉区の東北大金属材料研究所こども会議。スクリーンには、米国カリフォルニアの子供たちがいる。インターネットでつながれた画面に、街の模型が映し出されると「オーッ」という歓声がわき起こった。

「仙台は午前九時です。そちらは何時？」。「午後四時です」。通訳を介してそんな答えが返ってきた。




太平洋も七時間の時差もひとっ飛び。

「こども会議」を開催したのは、仙台市片平丁小佐々木卿校長、児童五百十人の六年二組と、カリフォルニア州ダイヤモンドバー市のチャペラルミドルスクール（ナンシー・ホック校長、生徒千二百人）の六年生。

同市は、ロサンゼルスの東、約七十キロにある人口五万六千の都市だ。

両校は昨年秋から、「地域の環境を見つめる」ことを共通テーマにした「未来の街」づくりにチャレンジ。並行して、自分たちの学校や街の様子、地域の情報などを電子メールで情報交換した。

人口規模を想定した街の〝イメージを考え基礎をつくる〟街づくり」「必要なもの」

## テーマは「環境」

### 発想の違いもくっきり

100年後の片平の街。広瀬川を挟んで、大きな建物が並ぶ＝1月20日、仙台市青葉区の片平丁小

### オゾンを製造

「百年後は死っている物も多い。だから、お店のビルもやっぱりでかいはず」。ショッピングセンターを百年はあるかと思われる高千穂鉄塔ごしは、高さ数百メートル。「片平からロケットの発射台を設置ロケットの発射台を設置した。高橋厚之君ごは「地球温暖化を防ぐオゾン製造工場」「お年寄り専用病院」「高層住宅」「商店・病院・住宅が同居するソーラーシステムのビル」「自動車工場」「お年寄りから子供まで、自然とふれあいながら遊べる公園」「高層ビルばかり中には寝ているものもあり、工夫していたのでびっくり」と日米の違いに驚いた様子。

チャペラルの未来の街。大自然の中で「生きる」ための道具が並んだ＝米国ダイヤモンドバー市

六年二組担任の鷹田登紀子教諭は「同じテーマでも、日本は科学の発達を信じた人工的な街、チャペラルは大自然の中でどう生きていくかを主眼に置いた街と、違いがはっきり表れた。電子メールのやりとりから、文通を始めた子供も出てきた。新たな国際交流につながってくれれば」と期待を寄せる。

### 市長も決めて

まちづくりは百年後の街を想定する③市長や区長、住宅、教育、環境保全などの行政担当者を決める＝という手順で進める。米国の「まちづくり教育」の手法を採用。

片平丁小では、発泡スチロールで作った片平地区の地形模型（三百分の一）の上に、牛乳パックや空き箱、割りばしなどを利用してつくった街のパーツを並べた。角砂糖一個分が四人家族の家、牛乳パック一個分が五百人が住める集合住宅という設定。「見たこともない物」を自分自身で〝発明〟することが妙味だ。

片平丁小では「道路が少ない」「住宅が足りない」という問題が起こり、〝緊急市議会〟を招集、白熱した議論も交わされた。

### 自然に生きる

一方、チャペラルでは、海岸、砂丘、山、砂漠の四つの環境を設定し、百年後に生きるために必要な食べ物や住居、移動手段、身を守る方法などを考案。「食べ物を通る風輪車」「動物から身を守る服」「バケツで川から水をくみ上げる機械」など、片平とはまるっきり違う街ぶりができた。

市長を務めた砂野なつみさんは「片平の街は大きな建物が目立ったが、チャペラルは小さなものを工夫していたのでびっくり」と日米の違いに驚いた様子。

河北新報
夕刊
河北新報社
仙台市青葉区五橋1-2-28
（郵便番号 980-8660）
「東」は、未来
電話（022）211
読者相談室 1447
報道部1127 販売部1[illegible]
スポーツ1130 広告外務部13[illegible]
特報部1146 広告内務部13[illegible]
学芸部1132 事業部13[illegible]
総合案内（022）211-1111
© 河北新報社 1998